

東 区

## 浜松！家康公ゆかりの里について

東区役所区振興課

### 【政策提案】

「浜松！家康公ゆかりの里」として、東区中郡町の鈴木家（古独礼庄屋）屋敷跡地を「出世の街・浜松」のシンボルである浜松城と連携を取って、全国にPRできる観光スポットにしていく。

### 【提案理由】

東区中郡町の鈴木家（以下鈴木家）は、古くからの独礼庄屋であり、このほかに高林家（東区有玉南町）、山下家（東区笠井町）、岡部家（中区東伊場）が、この地方の古独礼庄屋である。

この四家のうち鈴木家は最も格式が高く、家康公は鈴木家に万斛組といわれる組織を編成させ、代官としての役割を担わせていた。また、四家のうち三家が東区にあったことから、「家康公ゆかりの里」と位置づけていく。

### 【東区事業との連携】

歴史街道文化振興事業、東区俳句の里づくり事業との連携を図る。

東区内にある数々の家康公伝説との連携を図る。

- ① 甘露寺…家康公が名づけた「未開紅甘露梅」。
- ② 有玉神社…家康公が大坂の役で勝利を納め、愛馬を奉納したと由来される流鏑馬。
- ③ 龍泉寺…家康公が戦略を授かった阿弥陀堂があり、寺紋は三つ葉葵。
- ④ 大菩薩坂…武田信玄公が大軍を率いて通ったところ。

### 【交通アクセス】

鈴木家は、敷地面積 14,061 m<sup>2</sup> (4,254 坪) あり、すぐ西側には遠州鉄道線の西ヶ崎駅、北側には、浜松環状線があり、東名高速道路の浜松 I C、浜松西 I C、新東名高速道路の浜松浜北 I Cからもアクセスしやすい位置にある。

### 【今後の取り組み】

積志地区自治会連合会並びに鈴木家屋敷跡地活用準備会や公園課とも協議し、今後の活用方法を検討していく。

## 東区公共交通活用による地域活性化施策について

東区区振興課

### 【政策提案】

東区は、JR 東海道、遠州鉄道、東名高速道路が結節し、それらを快適に利用するためにソフト・ハード両面から整備を進めている。このような中、環状路線バス実証運行や環状線道路等の整備により、安全性や利便性を享受できる環境が整備される時期にあわせ、地域に密着した公共交通の活用を推進する事業展開により、地域の活性化を図る。

### 【提案理由】

JR 天竜川駅と遠鉄上島駅を結ぶ環状路線バスの実現と同時期に整備が予定されている JR 天竜川駅周辺整備により、東区内に新しい人の流れが発生する。

これにより環状路線バスを含む公共交通の利用者増加が見込まれ、東区内外から東区にある商業施設や句碑群や旧家跡、東海道や姫街道等の魅力ある文化・歴史的資源への誘客を促すことが可能となる。

さらに、環状路線バスが、地域住民の足として利便性、安全性が高いことがアピールできることにより、公共交通の積極的な活用による交通事故件数の減少が期待できる。

### 【今後の取り組み】

#### ○地域観光振興事業

東区内にある句碑群や旧家跡、東海道や姫街道等の魅力ある文化・歴史的資源を観光資源として活用するとともに、環状路線バスや JR 東海、遠州鉄道等の公共交通を活用した安全性の高い地域観光として市内外に発信する。また、地域の住民を観光ボランティア等として育成・活用する。

- ・公共交通事業者（JR 東海、遠州鉄道）との連携によるツアー商品開発
- ・文化・歴史的資源、観光資源の発掘及び施設整備事業
- ・観光ボランティア等の育成事業及び人材バンク事業
- ・地域事業者との連携による地域観光関連商品等の開発

#### ○環状路線バス活用推進事業

東区内の大型商業施設におけるパークアンドライドやサイクルアンドライドの実施や、公共交通事業者と事業者の連携によるサービス（お帰りキップ等）を展開することで、環状路線バスの利用促進と地域への定着を推進し、採算性のある路線となるような支援を実施する。

## フットサルチーム「アグレミーナ浜松」を活用した地域振興について

東区 区民生活課

### 【政策提案】

2012年6月より浜松アリーナを本拠地としたフットサルチーム「アグレミーナ浜松」が日本最高峰のフットサルリーグ F リーグに参戦する。浜松アリーナがある浜松市東区で、「アグレミーナ浜松」のホームタウンとしての地域意識の醸成を行っていく。「アグレミーナ浜松」を活用したソフト事業を展開し、地域の一体感を育んでいく。

### 【提案理由】

多くの政令指定都市は、野球・サッカーの日本における2大プロスポーツのいずれか、もしくは両方のチームがホームタウンとしており、郷土愛・地域の連帯感の醸成に寄与している。

浜松市は、以前よりフットサルの盛んな地域で、天竜区で開催されている LigaTenryu は、F リーグ開催以前は国内最高峰のリーグの一つであった。本市においても、老若男女、多くの市民が、浜松アリーナや公民館を始め、民間施設などさまざまな場所でフットサルを楽しんでいる。F リーグは、日本最高峰のフットサルリーグであるが、サッカーや野球などと比べ、市民の認知度は高くない。当面の課題としては、フットサル、F リーグ自体の認知度の向上が必要であり、東区内で、「アグレミーナ浜松」を浸透させ、地域の協力を得ることが必要である。

### 【今後の取り組み】

課題として挙げられるフットサル及びF リーグの認知度向上のため、公民館、小・中学校と連携した事業を行う。

公民館などで、F リーグやフットサルの魅力を紹介する講座、フットサルを実際にやってみる講座、試合の応援の仕方をガイド付きで実際の試合を見ながら教えてもらう講座をパッケージにした体験学習を開催し、親子でフットサルに親しみ、かつ、チームのファンになってもらえるような講座を展開する。

次に、「アグレミーナ浜松」のホームタウンとしての意識醸成に資する事業として、天竜川駅～浜松アリーナ～子安交差点あたりまでの協力していただける個人、事業者の住宅や店舗の軒先や防犯灯などに「アグレミーナ浜松」のチーム・フラッグなどを飾る。

地域との協力体制を形成するために、「アグレミーナ浜松」と地域との橋渡しを積極的に行う。東区の自主事業や地域力向上事業、その他地域で開催されるイベントに、「アグレミーナ浜松」の選手を招待するなど、草の根の活動を行っていく。

上記事業を通じて事業を展開する中で、新しい人と人との出会いを創出し、さらに、地域から新しい地域活性化に資する事業が生まれてくるような動きにつなげ、地域の一体感を育んでいく。